

樹脂熱硬化測定装置の販路開拓支援

支援機関 公益財団法人 えひめ東予産業創造センター 支援内容 販路開拓 支援区分 ものづくり

株式会社 サイバー

事業者概要

社名/株式会社 サイバー
代表者名/代表取締役社長 河端 和行
業種/制御ソフトウェア/電子回路の設計/製作
所在地/新居浜市中村松木一丁目八番21番
資本金/50,000,000円
設立/昭和43年12月
従業員数/46名



支援に至る経緯

次期経営者候補や若手経営者の育成を目的とした、公益財団法人えひめ東予産業創造センターが主催する「東予経営基盤強化塾」に2期生として参加し、KSP（かながわサイエンスパーク）にて経営戦略を学び、自社の見直しを行い、企業革新プランの作成を行った。その中で現場が実行できるレベルまで事業プランを落とし込み、実践状況を定期的にモニタリングすることで革新活動を組織に定着させた。

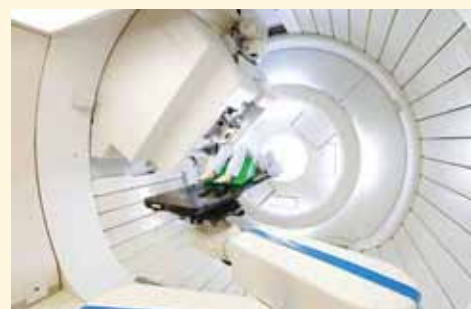
その後、事業プランに基づき、自社内の改善から業績を顕著に伸ばしてきた。株式会社サイバー（以下、「当社」という）の更なる飛躍、発展のために継続支援している。

支援内容

当社では高い品質レベルが要求される先端医療で利用される制御ユニットをはじめ、LEDを利用して情報を送る可視光映像電送装置やフィルターの目詰まりの差圧を測定するフィルタチェッカなどの開発などの実績を有する。

同社の販路開拓のため、愛媛県が実施する県内の優れた技術や製品を載せた「愛媛県スゴ技データベース」の紹介を行い、同社のアピールポイントをまとめ推薦を行った。その結果、登録されてHPや冊子に掲載されている。また新居浜市が実施する「新居浜ものづくりブランド」の認定も受けた。

これらをきっかけに、愛媛県が県内企業を集めて共同出展するエレクトロニクス技術の展示会「ネプコンジャパン」（東京ビッグサイト）にも出展支援した。自社の有する技術・製品の積極的なPR活動に努めている。当社の自社製品の1つに自動硬化時間測定装置がある。この装置はこれまで熟練者が手動で行っていた動きを再現し、エポキシ樹脂等の熱硬化性樹脂の硬化時間を自動測定する装置である。



支援の効果

展示会の会期中は国内外を含め多くの来場者があり、事前にHPを見たという台湾商社からの訪問を受けて商談成立に至った。これまでに数台販売実績が出ている。以降も台湾での販路パートナーとして関係は続いている。ネプコンジャパンへ出展したことで海外取引のきっかけが開けた。



今後の展開

それに合わせ、2014年には、自社製品である自動硬化時間測定装置をリニューアルした。測定装置のリニューアル機「まどか」は、従来品に比べて飛躍的に性能がアップしている。温度を上げる速度が約10倍、容積は1/4、価格は3割弱のコストダウンに繋がった。またエポキシ樹脂だけでなくEMC樹脂にも対応できるようにした。

今後は台湾以外のアジアへの販売を目指していく。新たな商品開発も行いながら自社商品のウエイトを伸ばしていきたいと考えている。



事業者の声

今回の支援により成約に至り、すでに何台が販売することができました。特に海外の販路への足掛かりが出来たことは当社にとって、大きな一歩となりました。これをきっかけに更なる事業展開を図っていきたいと思います。



代表取締役社長 河端 和行氏

STAFF-VOICE

当社とは、東予経営基盤強化塾への参加以前からの古い付き合いになります。河端社長とも本音ベースで何でも言い合える信頼関係があり、成果にも結びついたと思います。これからも更なる成長を期待します。



アドバイザー 村上 哲也